

2016年40周年



# にこにこ元気、 ミラノっ子

あなたの  
わたしの

「よいこ」さがし、「がんばる」さがし

## 【五つのしおり】

- ◎ 気持ちのよいあいさつをします。
- はっきり伝え合う言葉づかいをします。
- 身の回りをきれいにします。
- 時間を守ります。
- 自分の役割を果たします。

## 世間を広げる

校長 篠崎 厚子

一ヶ月が早く感じられます。各学年まとめの学習に入り始めました。

先日朝、子供たちを迎えるために校門前に立っておりましたら、本校保護者の方がお向かいの学校の保護者と親しくお話している姿を見かけました。あらっ、どうして？外国の方とあんなに親しげに、お知り合い？と思いましたが、不躰にも尋ねました。お子様を通してのお知り合いだとか。そしてこう付け加えられました。「子供のおかげで、私の住む世界が広がりました。自分だけでしたら、こんな風に人と繋がることは難しかったです。子供がいたからです。」と仰いました。私は「羨ましい！」と思いましたが。私達は子供たちに「誰とでも付き合いなさい。気持ちが合う人、中々理解し合えない人、様々な人がいるでしょうけれど、誰とでもです。」と教えます。それは「人と付き合い合う」ということが、物の考え方や見方、知識、教養等々、様々な面で自分を高めて行くことができるからです。それではどうやって知り合いに？どこに行ったら？

自ら積極的により広い世界に出ていけばよいのですが、そのきっかけが見つからないことが間々あります。“子供を通して、子供のおかげで繋がる。”何と、私利私欲無く、公明正大で確かな繋がりなのでしょう。その上、その繋がりでご自身の生活が楽しく有意義になり、延いてはお子様の成長にも繋がるのですから。



“世間を広げる”、思う程言う程簡単なことではないと思います。そんな視点からお子様をご覧になると、より一層お子様との繋がりや重みを味わえるかと思えます。 2月14日、どなたにチョコですか？お子様？（ご無礼致しました。）

## 日本の学校と日本社会

教師志望のイタリア人女性と両国の小中学校教育について話しました。これは日本の教育を振り返る機会になりました。改めて思う事は、日本は“体験を重視”し、それを社会が認め、積極的に協力して下さっているということです。例えば、製鉄所のような危険を伴う所でも、子供たちが安全に見学・学習できるようコースを作り、人員を配置してくれています。銀行、新聞社、役所、裁判所、国会、各メーカー等々、多くの分野での絶大な協力と支援の上に、教育が成り立っています。そのこと、改めて感謝しました。教育観の違うイタリアでも、門戸を開いてくれる企業・公共機関を開拓中です。

※ **学校と安全対策**・・・世界各国の日本人学校補習校を対象に、安全調査が行われています。本校も1月末、総領事館の警備担当領事同席のもと実施されました。結果は後日です。

## 2月の行事予定

5日(日) 漢検

10日(金) アクションの日  
避難訓練(火災想定)

15日(水) 中学部学年末考査  
～17日(金)

19日(日) 英検2次

20日(月) クラブ

23日(木) 授業参観 書写展

24日(金) 授業参観 書写展

6年生を送る会(小学部)

3・4校時

学級懇談会 小5～ 13:40

小1～4 14:35

保護者全体会 15:20

27日(月) 委員会

28日(火) プランツォの日

☆今月中に1・2年生の交歓会があります。学校近くのScuola Ebraicaです。期日は検討中です。